

2018年2月20日

第13回「児童教育実践についての研究助成」助成対象決定

博報財団(公益財団法人 博報児童教育振興会)は、第13回「児童教育実践についての研究助成」の助成対象を決定し、本日発表いたしましたのでお知らせいたします。

■ 助 成 対 象

審査委員会による厳正な審査の結果、応募総数 121 件のうち、15 件の研究を助成対象として選出しました。
詳細は「助成対象一覧」をご参照ください。

■ 今 後 の 予 定

2018年4月1日～2019年3月31日の1年間、研究助成を行います。

終了後は、助成対象者から研究成果報告書を提出していただくとともに、研究成果発表会で発表していただきます。また、助成対象者が希望する場合は、継続助成の申請をすることができます。

■ 当 事 業 の 目 的

すぐれた教育実践を生み出すためには、そのバックグラウンドとなる研究の深化・拡大が必要です。

この事業は、ことばの教育と児童教育実践の質を向上させる、新しい視点を持つ研究を助成し、その成果が教育の現場に反映され、児童教育の基盤を充実させることを目的としています。

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.hakuhofoundation.or.jp/subsidy/tabid/136/Default.aspx>

博報財団(正式名称:公益財団法人博報児童教育振興会)は、株式会社博報堂の創業75周年を記念して1970年に設立されました。「ことばの力」を根幹に置き、子どもたちの成長に寄与したいとの願いから、「博報賞」「児童教育実践についての研究助成」「国際日本研究フェロシップ」「世界の子ども日本語ネットワーク推進」などの児童教育の支援につながる活動を行っています。2017年にはこれらの事業に加え、新たに「博報財団こども研究所」を設立しました。

◇ 公式ホームページ <http://www.hakuhofoundation.or.jp/> ◇

■ 本件に関するお問い合わせ先:

公益財団法人 博報児童教育振興会 研究助成事業担当
TEL. 03-5570-5008 / FAX. 03-5570-5016
E-mail. hakuho.foundation@hakuhodo.co.jp

第13回 児童教育実践についての研究助成 助成対象一覧

助成対象研究(代表)者 (五十音順、敬称略)	研究タイトル (※はグループ研究)
稲田 尚子(いなだ なおこ) 東京大学大学院教育学研究科 研究員	小学生に対するアンガーマネジメントプログラムの開発:効果的な指導方略の検討 ※
鷓飼 修(うかい おさむ) 滋賀県立大学地域共生センター 准教授	地域診断ワークショップを活用したまちづくり学習プログラム・ツールの開発
大西 彩乃(おおにし あやの) 筑波大学附属桐が丘特別支援学校 施設併設学級 小学部 教諭	表出言語としての「ことば」を持たない重度・重複障害児に対する「ことば」の指導の在り方に関する実践研究 ※
岡田 涼(おかだ りょう) 香川大学教育学部 准教授	子どもの援助要請に対する教師の必要性の認知に関する研究
蒲生 諒太(がもう りょうた) 京都大学大学院教育学研究科 大学院生	学習者の主体的な学びを可能にする「探究的な学習」テキスト開発研究 —「探究」教室での試行と学びの社会的リソースとしての社会教育施設調査をもとに
河合 裕美(かわい ひろみ) 神戸外語大学児童英語教育研究センター(CTEC) 専任講師	聴覚障害児童の英語音声の知覚・産出能力の実態調査—通常学級内授業における指導法・教材開発検討のための基礎研究— ※
木村 淳子(きむら じゅんこ) 慶應義塾大学政策・メディア研究科 大学院生	聴覚障がい児に対する言語発達支援のための検査バッテリーの開発 —語の意味推論方略に焦点を当てて—
篠沢 薫(しのざわ かおる) 東京学芸大学大学院連合学校教育研究科 大学院生	日本語がマイノリティ言語である環境で育つ子どもたちの言語発達:家庭における支援に向けて
須恵 耕二(すえ こうじ) 熊本大学工学部技術部電気応用グループ 技術専門職員	音声式地図パズル教材の全国提供による全盲児の地理学習環境の改善 ※
田中 光(たなか ひかる) 広島大学大学院教育学研究科 大学院生	意見文作成課題の文章産出方略における尺度の妥当性および実用性の検討 ※
田中 祐輔(たなか ゆうすけ) 東洋大学国際教育センター 准教授	帰国・外国人児童生徒のための JSL 国語教科書語彙シラバスの研究 —グローバル社会における共生型小学校国語科教育をめざして—
丹所 忍(たんしょ のぶ) 兵庫教育大学大学院学校教育研究科 講師	先天性視覚障害児の空間表現語理解に関する研究 —位置関係の表現における空間参照枠の活用を中心に—
本間 優子(ほんま ゆうこ) 新潟青陵大学福祉心理学部臨床心理学科 准教授	幼児期におけるデジタル絵本を用いた役割取得能力トレーニングの効果の検証 —小1プロブレムの予防に向けて— ※
松原 和樹(まつばら かずき) 中央学院大学商学部 専任講師	算数・数学における系統的な折り紙教材の開発研究
米澤 千昌(よねざわ ちあき) 大阪大学大学院言語文化研究科 大学院生	複言語・複文化環境で育つ子どもの「学び」を育む支援環境構築に関する研究

〈所属・役職は助成決定時のもの〉